

「日本 JC 入場管理システム 2012」

【バーコード作成マニュアル】

【第 1 版】

平成 23 年 1 月 6 日

本書概要

本書は、JC 入場管理システムにおける、バーコード作成機能・操作方法について、説明したものです。

改版履歴

更新日	版数	修正概要
2011/1/6	初版	リリース

目次

1. バーコードの作成（簡略版）	4
2. バーコードの作成（ヒサゴ工房を利用した場合）	5
2.1 バーコード作成の概要	5
2.2 ヒサゴ工房の起動方法	6
2.3 バーコード作成用フォーマットを開く	6
2.4 データの読込設定を行う	7
2.5 「ヒサゴ工房」での保存内容と読込について	12
2.5.1 （スペースとデータの）対応付けの保存内容と読込について	12
2.5.2 閉じる時の保存内容と読込について	12
3. 表示データの調整方法	13
3.1 表示データの調整	13

1. バーコードの作成 (簡略版)

同時に複数のバーコードを作成する必要が無い場合や簡単に作成したい場合には、下記、サイトにおいて作成が可能です。

バーコード作成サイト URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~bar/page3/barmain.html>

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~bar/page3/barmain.html>. The page title is "バーコードの作成と印刷". The interface includes a menu bar with options like "ファイル(F)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "ツール(T)", and "ヘルプ(H)". Below the menu, there are tabs for "トップページ", "作り方", "作成と取り込み", "作成と印刷", and "掲示板(ブログ)". The main content area has the following elements:

- ①** "バーコードの種類" (Barcode Type) dropdown menu set to "CODABAR(NW-7)".
- ②** "バーコードの値" (Barcode Value) input field containing "0001000001", with "OK" and "リセット" buttons.
- ③** "ラベルの種類" (Label Type) radio button group with options "LABEL-a", "LABEL-b", "LABEL-c", and "LABEL-d". "LABEL-a" is selected.
- ④** "ラベルの幅" (Label Width) input field set to "51" and "ラベルの高さ" (Label Height) input field set to "55".
- ⑤** "印刷" (Print) button.

Additional text on the page includes: "このページでは、作成したバーコードをラベル印刷することができます。バーコードの入力方法は、「バーコードの作成と取り込み」のページと同じです。そして、入力されたバーコードの値は、下の欄に表示されていきます。入力が終わりましたら印刷ボタンをクリックしてください。そうすると印刷用のページが表示されますので、印刷プレビュー画面で確認した後、印刷を行ってください。バーコードの値を入力した後に、ここに表示される削除ボタンで最後のデータを削除することができます。キャンセルボタンは、すべての入力値をクリアし、初期状態に戻します。"

Below the form, there is a "キャンセル" (Cancel) button and a preview area showing the barcode value "0001000001".

- ①バーコードの種類はCODABAR (NW-7) としてください。
- ②バーコードの値に4桁のLOM番号+6桁の会員番号を入力しOKボタンを押します。
- ③ラベルの種類は特に変更する必要はありません。
- ④ラベルの幅 50mm、高さ 15mmとしてください。
- ⑤印刷ボタンを押し、印刷してください。

2. バーコードの作成 (ヒサゴ工房を利用した場合)

2.1 バーコード作成の概要

同時に複数のバーコード作成を行ったり、バーコードデータの管理を行う場合には、ヒサゴ株式会社より無料ダウンロード可能な「ヒサゴ工房」を利用して、バーコードの作成・印刷します。

以下、「ヒサゴ工房」を利用するバーコード作成方法について記載しています。

作業を行うためには、「ヒサゴ工房」のダウンロードが必要です。

以下のURLから使用する端末にダウンロードしてください。

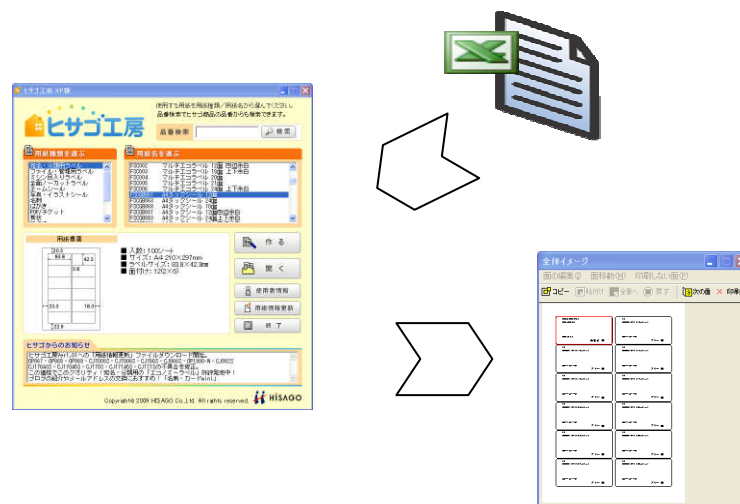
「ヒサゴ工房」ダウンロード用アドレス

<http://www.hisago.co.jp/download/kobo/index.htm>

※ ダウンロード手順、およびインストール方法は、上記のホームページの記述に従って行ってください。

※ ソフトは、Windows7、vista用とWindows2000、XP用がありますのでお間違えないようご注意ください。

「ヒサゴ工房」の詳細な説明はソフトウェア内にヘルプ機能が搭載されていますので、そちらをご参照下さい。また問合せ先もホームページ記載先となりますのでご了承下さい。



※ 「ヒサゴ工房」はヒサゴ株式会社およびTB株式会社の著作物です

※事前に日本青年会議所ホームページより、
バーコード作成用フォーマット『バーコード作成.hik』の入手が必要です。

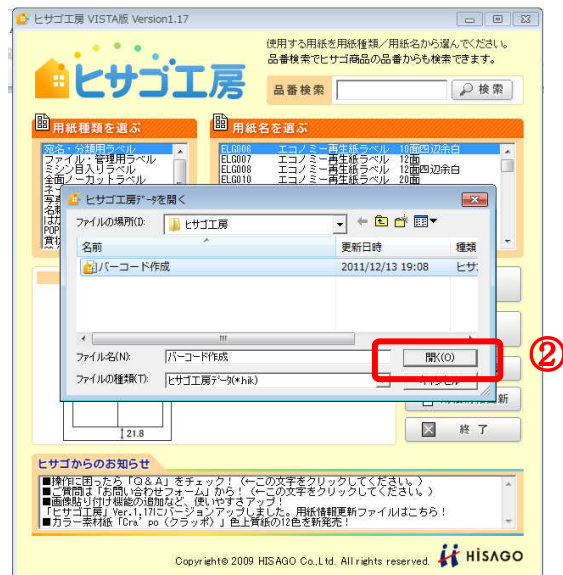
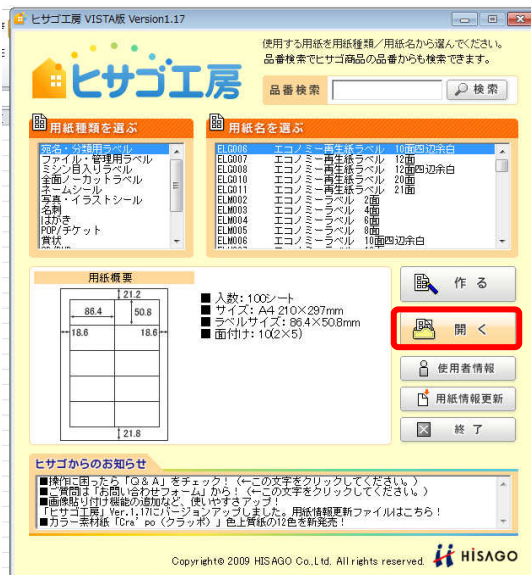
2.2 ヒサゴ工場の起動方法

「ヒサゴ工場」がインストールされると作成される、デスクトップ上のアイコンをクリックして起動します。（下記のアイコンは WindowsXP 版の場合）



2.3 バーコード作成用フォーマットを開く

① 「開く」をクリックします。



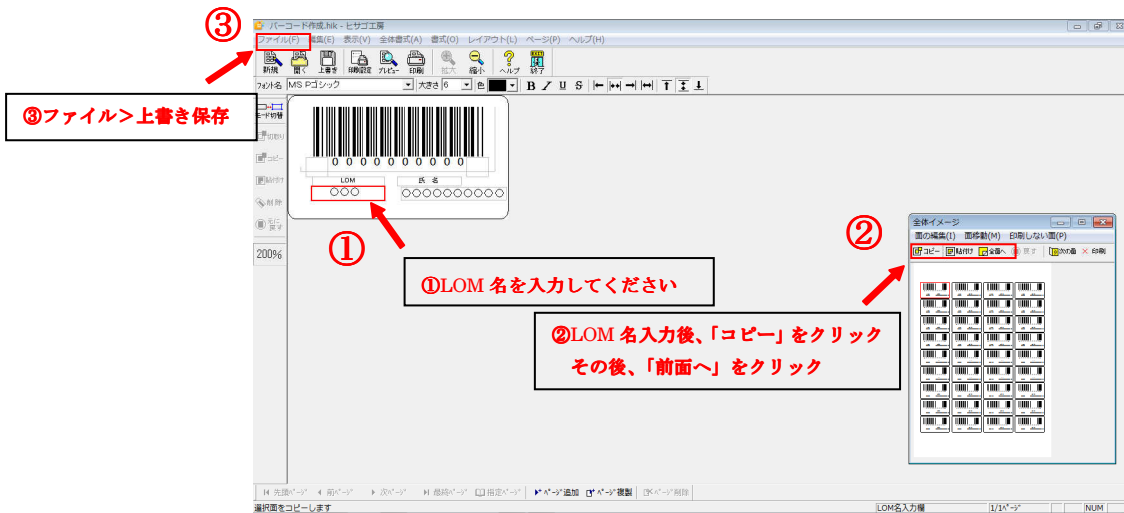
② あらかじめ用意した『バーコード作成.hik』を選択し「開く」をクリックします。

※事前に日本青年会議所ホームページより、
バーコード作成用フォーマット『バーコード作成.hik』の入手してください。

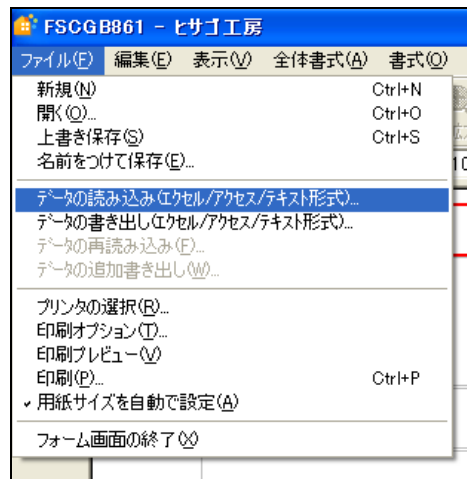
2.4 データの読込設定を行う

下記の画面が展開されたら、バーコード作成を行う会員データとなるエクセルデータ（個人情報付与済の『入場管理』システム）を選択し、エクセルの列と出力する領域との関連付けを行います。

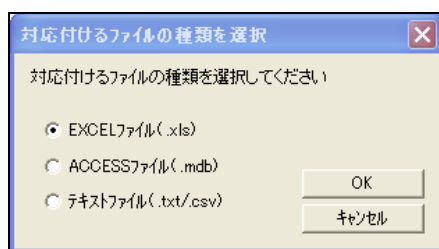
※初回利用時は、初期設定として下記の動作を行ってください。



- ① 画面左上のファイル（F）＞データの読み込み（エクセル/アクセス/テキスト形式）をクリックします。



- ② 対応付けるファイルの種類は「EXCEL ファイル」のままOKボタンをクリックします。

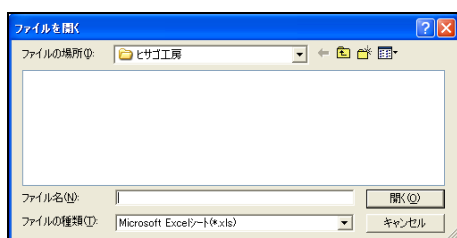


- ③ 個人情報付与済の『入場管理』システムのエクセルファイルを指定し、開くボタンをクリックします。

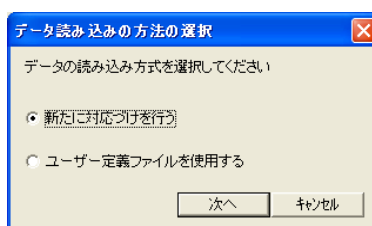
※別途、作成したエクセルファイルに会員番号、名前等のデータを入力した場合は作成したファイルを開いて下さい。

※会員番号を必ず文字列として入力する必要があります。

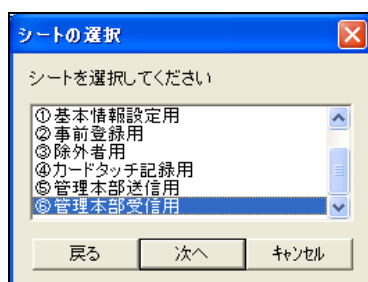
(以下、『入場管理』システムのエクセルデータを利用した場合を例に説明します。)



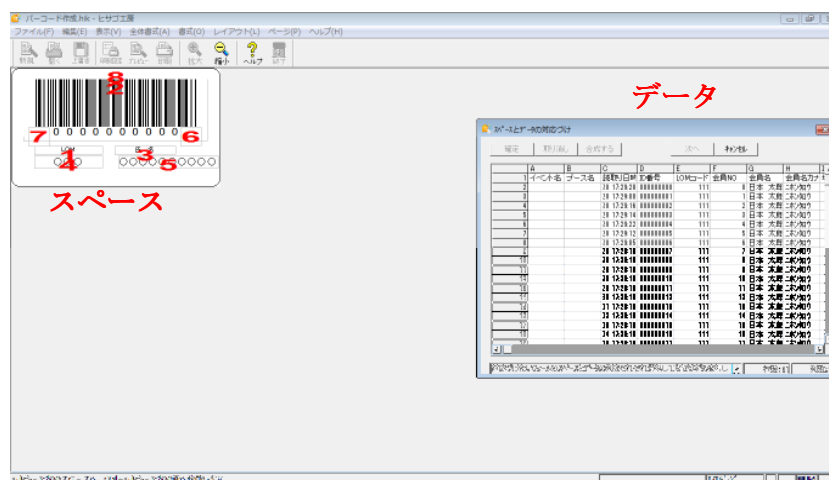
- ④ データの読込方法は「新たに対応づけを行う」のまま、次へボタンをクリックします。



- ⑤ 個人情報が付与されたシートを選択し、次へボタンをクリックします。
(『入場管理』システムのエクセルファイルを利用した場合『⑥管理本部受信用』)



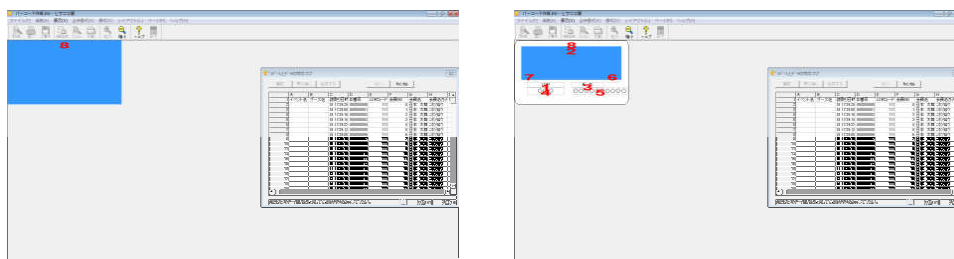
- ⑥ スペース（タックシールの出力領域）とデータの対応付け画面が表示されます。



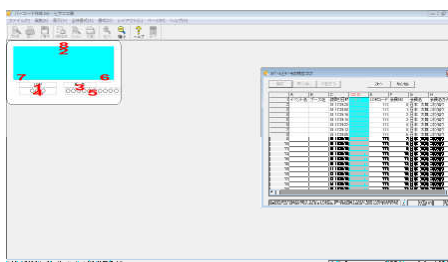
- ⑦ 出力対象となるデータとの対応付けを行います。

出力対象となるバーコードのスペースを選択します。

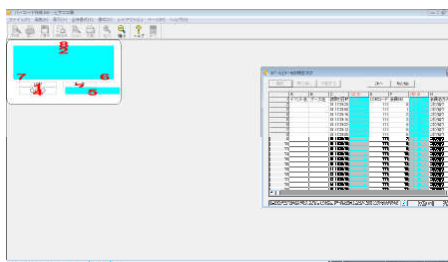
※タックシールの出力領域のデータをクリックすると画面が青く表示されることがありますが選びたい項目の箇所にてダブルクリックすると画面が切り替わります。



バーコードデータが格納されている列を選択して対応付けを行い、確定ボタンをクリックします。



名前データが入力されている列を選択し対応付けを行い、確定ボタンをクリックします。



- ⑧ 名前及びバーコードの対応付けが完了したら、データウィンドウの「次へ」ボタンをクリックします。



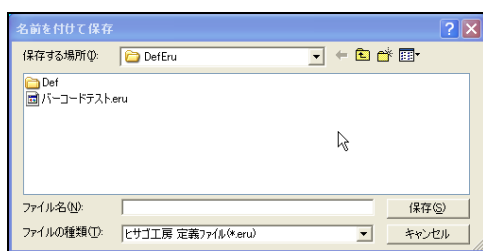
- ⑨ 「すべて選択」をクリックします。
(データの一部を選択する場合は、行で Shift キーなどを使って選択して下さい。)



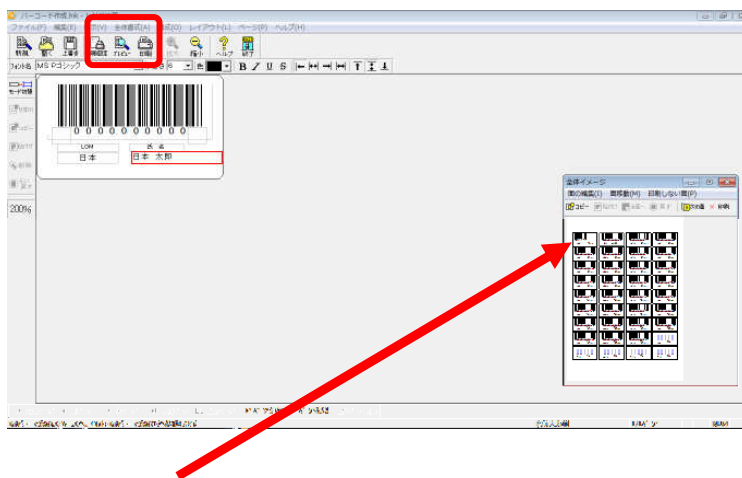
- ⑩ これまでに設定した (スペースとデータの) 対応づけを保存することが可能です。
保存する場合は、「はい」をクリックします。



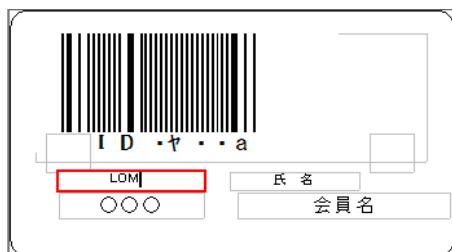
- ⑪ 保存場所とファイル名を設定し、保存をクリックします。



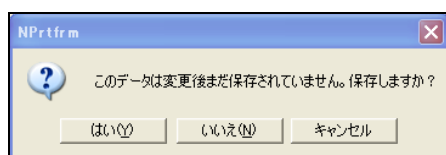
- ⑫ データが展開された状態となりますので、プレビューで確認後、印刷ボタンをクリックして印刷します。



※一番左上のデータは、下記のように正しく表示されませんのでご注意ください。



- ⑬ 閉じる時の保存確認のメッセージでは、「はい」をクリックし、保存先と名前を設定します。



- ⑭ 保存後、「ヒサゴ工房」の最初の画面に戻ります。

2.5 「ヒサゴ工房」での保存内容と読込について

この章では「ヒサゴ工房」の操作中で使用する保存と読込について説明しています。

2.5.1 (スペースとデータの) 対応付けの保存内容と読込について

作成した対応づけの設定を保存しておくことが可能です。

対応付けの保存情報には、読込元となるエクセルファイル名・シート名・列とスペースの対応付けが保存されています。

読込元のエクセルファイル名・シート名・列に変更が無く、データのみが変更となった場合に、変更されたデータで再度バーコードの発行を行いたい場合は、ファイル (F) > データの再読み込み (F) をクリックして、データの読込範囲の設定から開始します。

※ 保存情報を再利用しない (作成の度に設定する) 場合は、保存の必要はありません。

2.5.2 閉じる時の保存内容と読込について

データが展開された状態で閉じる時の保存情報には、バーコード発行用のデータ展開された状態が保存されます。

新規作成時および、データの再読み込みなどを行った場合は、保存確認のメッセージが表示されます。

再度バーコードを発行したい場合は、「ヒサゴ工房」の最初の画面で用紙設定をしないまま、作成ボタンをクリックし、ファイル (F) > 開く (O) をクリックして、データを展開します。

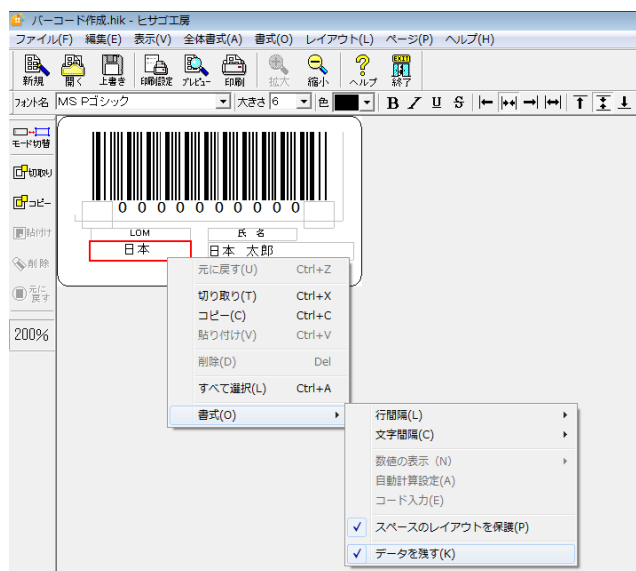
※ 保存情報を再利用しない (作成の度に展開する) 場合は、保存の必要はありません。

3. 表示データの調整方法

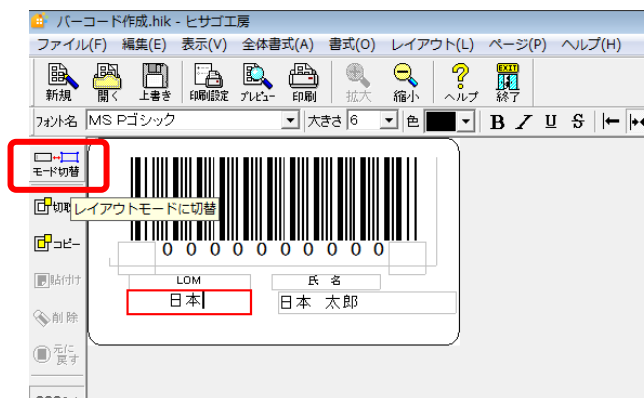
3.1 表示データの調整

文字がずれていたり、表示がうまくされていない場合、入力情報の位置を調整し、修正できます。

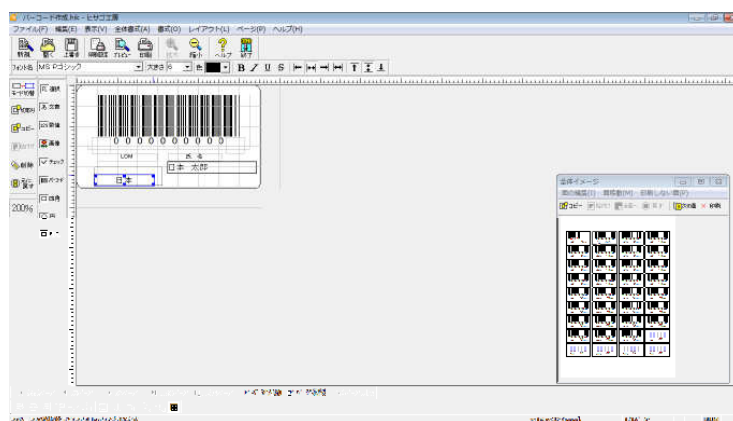
- ① データの保護を外す。
変更したい対象のデータ欄にて右クリックをし、
書式「スペースのレイアウトを保護」の欄をクリックします。
※動作を行った後、チェックが外れていることをご確認ください。



- ② 「モード切替」をクリックし、レイアウトモードにします。



③ 適正な位置への移動や表示スペースの大きさの変更を行ってください。



※その他、ご利用に関する「ヒサゴ工房」の詳細な説明はソフトウェア内にヘルプ機能が搭載されていますので、そちらをご参照下さい。また問合せ先もホームページ記載先となりますのでご了承下さい。